



# みなみいず 町議会だより

No. 74号

2018年  
平成30.8.1

発行/南伊豆町議会 編集/議会広報編集委員会 〒415-0392 静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂315-1 TEL0558(62)6240  
E-mail:gikaj@town.minamizu.shizuoka.jp



伊豆縦貫自動車道工事進む

接続工事が進む修善寺JCT遠景



掘削が始った、逆川トンネル（仮称）から下田市側を臨む



橋梁が完成し、R414と接続間近な天城湯ヶ島

6月28日 西伊豆町・松崎町・南伊豆町議会合同視察にて

## 6月定例会を6月5日～6日の会期で開催しました。

- 主な内容
- 6月定例会 ..... 2～3
  - 一般質問 ..... 4～9
  - 議会一口メモ、くろ潮、  
音声版ボランティア募集、未来を担う子ども達 ..... 10

平成30年度

# 一般会計補正予算可決

- 一般会計 ..... 7,244万9千円
  - 議会費 ..... 12万9千円
  - 総務費 ..... 567万4千円
  - 民生費 ..... 549万1千円
  - 農林水産業費 ..... 277万4千円
  - 商工費 ..... △135万円
  - 土木費 ..... 4,528万3千円
  - 消防費 ..... 1,429万3千円
  - 教育費 ..... 15万5千円

## 平成30年6月議会定例会審議結果

No.	議案番号	提出議案	審議結果	渡邊哲	比野下文男	加畑毅	谷正	長田美喜彦	稲葉勝男	清水清一	漆田修	渡邊嘉郎	横嶋隆二
1	報第3号	専決処分の報告について（南伊豆町税賦課徴収条例等の一部を改正する条例）	報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	議第43号	南伊豆町附属機関設置条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

No.	議案番号	提出議案	審議結果	渡邊哲	比野下文男	加畑毅	谷正	長田美喜彦	稲葉勝男	清水清一	漆田修	渡邊嘉郎	横嶋隆二
3	議第44号	南伊豆町庁舎ホール等使用条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	議第45号	南伊豆町定年退職者等の再任用に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	議第46号	南伊豆町議会の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	議第47号	国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	議第48号	静岡県市町総合事務組合理約の一部を変更する規約制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	議第49号	備品購入契約について（平成30年度基幹系パソコン及びプリンタ購入）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	議第50号	備品購入契約について（平成30年度小中学校教職員用パソコン購入）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	議第51号	指定管理者の指定について（石廊崎オーシャンパーク）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	議第52号	南伊豆町指定金融機関の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	議第53号	町道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	議第54号	平成30年度南伊豆町一般会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	発議第1号	最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	発議第2号	静岡地方裁判所沼津支部における労働審判の実施を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 議長 齋藤要は採決に加わっておりません。

# 町長に聞きました



加 畑 毅 議員

## 「沼駿伊豆学校施設整備 推進議連」の活動

質問 沼津、駿東、伊豆地区の学校施設整備促進のため  
の予算確保を目的とする「沼駿伊豆学校施設整備推進議連」は、勝俣孝明衆議院議員を会長として、伊豆地区13市町の若手議員で組織した議員連盟。3月11日、伊豆市修善寺のホテルに於いて13人で発起人会を開催し、3月27日には東京の永田町、衆議院第一会館にて

勉強会を開催。これに私も参加し、南伊豆町教育委員会の白井氏も同席した。その時に文部科学省の担当者からの説明で、地域の現状を訴えて継続的に要望することが重要だと聞き、その後、国土交通省、観光庁、厚生労働省の担当者から、人材が不足していて地方への対応が不十分な状況であることも説明を受けた。こ

の時の報告を受けて、当局側はどう感じたか。

教育委員会事務局長 参加した職員からの報告は、勉強会では文部科学省の大臣官房、文教施設企画部施設助成課長による説明がなされ、一般的な制度の話のほか、どのようなしたら補助金が採択されやすいのかという説明もなされた。採択については、国の予算配分にもよるが、国の補正予算補充時にすぐに対応できるかがポイントであるとのこと。どこの自治体も申請はするが、申請額が国の予算を上回っているというのが現状であるところ。予め申請年度を決めることも重要ではあるが、国の補正のタイミングに柔軟に対応できることが採択をされやすいということ。その重要性を認識したところが勉強会に参加した効果だと報告を受けている。

質問 5月7日にはこの議連の活動として、勝俣孝明衆議院議員が来町し、南中小学校、南伊豆中学校を視察した。私も同行し、当議会からも同僚議員が数名同行した。町長も同席したが、その時の感想や印象を聞きたい。

町長 5月7日の現地視察並びに学校関係者との意見交換では、とりわけ南中小学校については、グラウンドの水はけが悪く、降雨後2日間程度は使用不能の状態となるなど、教育活動に支障をきたしており、グラウンド改修工事は多額の事業費が想定され、国庫補助金の活用が不可欠と考える。町内3小学校のエアコン整備は平成30年度当初予算に計上し、6月中の稼働に向けて現在作業中。町内2中学校においても同様の教育環境であることから、次年度以降早い時期に整備ができればと考えているが、将来的な課題として学校の再編があり、そのタイミングや今後の国庫補助事業配分の動向なども含めて教育環境

の整備に取り組みたい。今回の「沼駿伊豆学校施設整備推進議連」による学校視察に同行し、各種要望をさせていただいたが、学校施設に係るハード面整備においては、国庫補助金等の採択は必須であり「沼駿伊豆学校施設整備推進議連」からの後押しがいただければありがたい。強力な支援団体として、今後も活動に大いに期待を寄せている。

漁業関係者への町のバックアップ

※質問し、答弁があった。





議員 漆田 修

## 広域ごみ処理関連

質問 昨年2月、一市二町による当該問題の事業戦略が説明された。その後様々な要因により議論閉塞となっている。現在の状況は。

町長 三自治体の同意をもって基本構想が策定されているがこの6月末に意思決定が迫られる。

質問 可燃ごみ収集袋は有償買取方式で運用されている。ある自治体ではスーパ―買物袋にあらかじめ自治体名が印刷されゴミ袋として代替させているが当町の場合、この様な選択は不可

能か。

町長 広域が独自の選択もあるが、今後の検討材料として考えたい。

## 水道事業ダウンサイジング

質問 外部委託管理契約前と後の経済的・人的省力化の実効性と水道料金検針の短縮化についての当局見解は(2ヶ月を1ヶ月に)

町長 委託前の人件費と比較すると割高になっている

が特化した技術者の確保や適性な管理運営体制が確立されるなど町内雇用の増加がみられる。

生活環境課長 今迄水道課にたずさわる職員の移動が難易であったが経済性・効率性・効果性の面でプラスだ。

町長 検針サイクルの従前化は大口使用者や生活困窮者対策として意見要望等を伺いながら対応したい。

## 糖尿病の状況と行政健診

質問 糖尿病有病率は県東部、賀茂郡が一番高い率を示している。当町はどの位置にあり、なぜ率が高いのか。

町長 一人当たりの受診率と費用額でみると受診が低く費用は高い傾向にある。比較的症狀が進行してから医療機関に受診することで“痛み”等の自覚症狀が無い事も疾病率を押し上げている。

質問 村ぐるみで糖尿病撲滅に成功したヤーコン村の奇跡、という文書がある。オリゴ糖の王様であるヤーコンは健康と結び付けた農業として注目され、吉祥町営農場に種苗農場としてヤーコン栽培し翌年収穫後、町内遊休耕作地に植栽するなどの考えはあるか。

町長 参考になる提案と思う。現下の吉祥地区体験農園の運営は使途が異なるため今後の課題と捉え検討する。又、各種農業団体と協議するなど可能性について調査研究して参りたい。

## 介護保険支援事業について

質問 改正介護保険を3月議会でも質問した。4月支援事業計画書を頂き、質問との検証を行うと同時に6月議会での再質問となった。施設サービスの要支援は総合事業に移行し改正後の新たな総合支援事業の指針として詳細に計画化されているが、財政的な実効性につ

いての説明を求める。

町長 具体的な数値は9月決算議会で明示でき、国の指針に基づく計画との整合や介護離職ゼロを目指し、5つの項目をあげ基本理念は“地域支援包括システム”のコンセプト通りである。

質問 具体的な個々(5項目)の説明を頂き理解された。事業支援計画の中では福祉分野毎の業務課金が数値計画化されている。推進委員会がPDCA検証し、計画変更とあるが、次年度予算ヒアリングとの関係は。

町長 平成30年度決算後に地域包括ケア見える化システムを活用しながら分析し、次年度予算に反映させる。





議員 正 谷

## 文化財指定と まちづくりの現状・方向性は

質問 文化財指定のロードマップ、タイムスケジュールは。

町長 何時までに何点を指定する等、具体的なものはない。町内には、文化財が数多く存在しているもので、今後、洗い出しとともに作成を検討し、計画的、効率的に進めていく。

質問 文化財指定に向けて各種団体などの関りは。

教育委員会事務局長 今までは、ある程度ピックアップして、教育委員会から文化財保護審議委員会に諮問

し、答申を受け、町の文化財となっている。

質問 指定に向けての調査・評価（検証）の方法、考え方は。

教育委員会事務局長 町指定の文化財についても、学芸員等の専門家が不在な状況では、説得力に欠けるものがある。それぞれの分野における専門家の意見等を伺いながら進めていく必要がある。そのような方々を選出してアドバイスをいただき、進めていきたい。

質問 指定に向けての専門委員会等の必要性、立ち上げは。

教育長 特定の方々に頼るのではなく、絵画等の一般開放もあるので、今後、予算等も関係するので、幅広く検討課題としたい。

質問 個人所有のものを含め調査、指定の優先順位は。

教育委員会事務局長 町内にどのようなものがあるかの洗い出し、足での調査、地元の方々への聞き取りを行い、データベース化を進めたい。

質問 文化財保護・管理等に関する財政等（予算、人員等）の考え方は。

町長 文化財の保護・保管については、財政状況を勘案し、ふるさと寄付金の利活用も非常に有効と思う。またクラウドファンディングについても、興味ある方々は理解されて、協力をいただけると思うので、進めるよう検討したい。

質問 文化財を使つてのまちづくり、観光等への情報発信の考え方は。

町長 この作品については、心を動かされた。何かの形で活用できればと思う。南伊豆町に関係ある文化財については、石廊崎オーシャンパークが来年4月に開園した中で、ジオパークの関係ブースも作る予定があるので、設置を検討しながら、何らかの形で観光客、町民の方々にもPRしていきたい。



## 急傾斜地、 砂防個所等

質問 町内急傾斜崩壊個所数、砂防指定個所及び工事施行済み等は。

町長 急傾斜レッド地域は300個所以上、工事施行済みは57個所、過去、5年間では、1個所の実績。砂防個所は15個所で事業化は1個所である。

質問 今後の事業執行の考え方、県・国等との協力は。

町長 静岡県土木事務所等の所長以下、何でも相談に乗ると言っている。ので、今後、様々なことをお願いしていきたい。



横嶋隆二 議員

## 移住・定住施策の 取り組みと実績

質問 移住・定住施策には、平成28年度490万円、29年度335万円余の予算が執行された。内容、実績、課題、展望についてどう認識しているか。町出身でUターンした方々、地域おこし協力隊を卒業した方々も、非常に苦労している。並大抵の状態ではない。移住・定住の事業にお金をつぎ込むより、ここで事業を起こすことへの支援を真剣に考えるべきではないか。

町長 お試し移住制度を活用し、平成29年度中に町内に滞在した方は83名。前年

度24名から大幅増。空き家バンクリフォーム等補助金は、昨年度13件利用。昨年度移住セミナーの参加者を含む移住相談件数は年間400件余。社会的要因による人口の増減は、昨年度も転入超過となり成果が示されたが、Uターンの難しさもある。毎年町外に出ていく60名近い若者何割かでも戻ってきてもらう施策のほうが大事故かなとも考えている。

## 子育て支援の 次の展開

質問 高校生のバス通学支援策・医療費無償化は、歓迎の声が上がっている。引き続き子育て支援のために、学校給食無償化の検討をすべき。

教育長 学校給食法を遵守し、学校栄養士が児童及び生徒に必要な栄養量を摂取できる献立を作成し、食育指導を実施している。年間給食費は、小学校が1,602万円、中学校が1,037万円、合計約2,600万円、町の財政負担が増加する。一部公費負担等の方策も視野に入れ慎重に検討して行く。

町長 いずれは考えなければいけないが、今の現状では、時期尚早。

## 障害活躍・健康 長寿の施策展開

質問 介護予防は早い段階での対策が大事。一般介護予防事業について、どのような支援がされているか。年齢的には対象だが、ゲートボールやグラウンド・ゴルフ等々をやっている方、80歳過ぎて農作業をしている方など元気な方にも、予防の観点から、一定の支援策が必要と思うが。

町長 骨・関節疾患への予防対策、認知症の予防対策等を中心としたハイリスク者に向けた事業展開を実施。年齢的に早い段階での予防対策が必要だ。体育協会グラウンド・ゴルフ部による大会の開催や文化協会を介した各種趣味の醸成など、健康づくり、生きがいづくり活動の推進に取り組む。

健康福祉課長 要介護の前に総合事業の対象者になるような方たちを多く募り、悪化をさせない取り組みが一

## 地域振興策と みなみの桜と 菜の花まつり

質問 シニアサロンは1団体あたり6万円の補助金をお渡しして、いろいろな高齢者を募りいろんな活動をしていただいている。みなみの桜と菜の花まつりの傾向と現状、課題をどう見ているか。

町長 菜の花結婚式を、満開の菜の花の暖かいところで3月10日間際に行ったらどうだろうということも提案している。観光協会長のほうもそういうことも必要だということで、検討課題としていただくことになった。





稲葉勝男 議員

## 伊豆半島ジオパーク 世界認定と町の取り組み

### 観光教育等の 面では

質問 伊豆半島ジオパークがユネスコの世界ジオパークに認定された。ジオパークの事業の目的に掲げるのは、地質学的な遺産を保護しながら観光や教育・防災などに活用し、地域が持続可能な開発を目指すとしている。変化に富んだ地形・温泉・食材など数多くのジオの恵みがあり、教育や観光等と連携し、地域振興や活性化に繋げる千載一遇の

チャンスと捉えるが考えを聞きたい。

町長 ユネスコはジオパーク世界認定の要素として、エリア内の希少な地形や地質構成要因を利用した持続可能な観光事業の展開、文化の保護と尊重の心の醸成・教育・防災のあり方などを重視し、伊豆半島ジオパーク推進協議会への職員派遣や観光ビジターセンター運営、南伊豆ジオガイドに対する支援やジオ教育にも取り組んでいる。

教育長 遠足でジオポイント

トを見学するプランを取り入れ、カリキュラム的には不備な点もあるが可能な限り総合学習など取り入れている。

### ジオガイド養成 への考え

質問 世界ジオパークに認定されたが知名度も低く、地域住民や観光客等に理解されるためには、専門的知識を持ったジオガイドの養成が不可欠であるが考えは。

町長 ジオガイドの認定については、半年にも及ぶ受講期間と金銭的負担が伴うため、観光協会を介した中で補助体制をとっており、今後も受験者支援とジオガイドが活躍できる環境整備に取り組んでいく。

### 施設整備

質問 ジオポイントは遊歩道を利用する箇所が多いがその維持管理とポイントの

崩落・亀裂等に対する保全活動への考えは。

商工観光課長 南伊豆歩道運営協議会で年2回の草刈りを実施しているが、今後実施回数を増やす等検討する。

企画課長 安全に観察できる事と、保全活動について予算等の面で検討する。

### 広域ごみ処理 計画の現状と 今後

質問 下田市・南伊豆町・松崎町で「広域ごみ処理施設整備」について協議を重ねてきたが、下田市が、「広域化の利点が不明確である」を理由に難色を示している。多額な投資を必要とするインフラ整備は広域で取り組む事が重要であり、今後の考えは。

町長 下田市・松崎町から広域化に対する回答は六月末日までとなっている。仮に1市2町の広域で進むことになれば、限定案を進めるつもり。

質問 現施設は老朽化が進み、町民生活に直結した喫緊の課題であるが、単独での調整を考えるのか。

町長 基本的には単独での整備は財政的にも厳しいので考えていない。今後は多角面から検討を進めていく。





清水清一 議員

## 医療、福祉について

**質問** 町民の医療の確保についてどう考えているのか。充実のために、どのようなことを実施し、どのような計画で進めていくのか。

**町長** 医療機関への通院の一助として、町内の医療機関を巡回する患者輸送バス、順天堂静岡病院直通運行事業及び下田メディカルセンターへの高齢者通院費助成など、引き続き実施。医療確保の面では、充実した事柄として、特定医療法人駿甲会が運営する市之瀬診療所が南上地区に開院し、週5日間での外来診療が行わ

れている。下田メディカルセンターでは、回復期リハビリテーション病棟の運用、地域包括ケア病床の導入、がん治療における化学療法外来室の設置等、段階的に診療体制の充実が図られ、本年4月からは糖尿病専門医による専門外来も設置、重症化や合併症の予防、信仰の防止が期待される。

**質問** 高校生医療費無料化で現状はどうなのか。  
**町長** こども医療費助成事業は、4月より対象年齢を18歳に達する年度までとし

た。質対象年齢の拡大に伴う申請者181名に受給者証を交付。本年度予算に、拡大分400万円を計上した。

**質問** 5月20日の静岡新聞の1面に、はしか予防接種県内市町でという記事があり、2回目の接種で県下平均94.2%、南伊豆町は81%で県下最下位だった。それについての対策等は。

**町長** 定期予防接種として、こどもへの接種は13疾患10種類高齢者では2疾患2種類のワクチンを接種実施。こどもへの予防接種は集団接種を中心に実施していたが、本年度から各医療機関で実施する個別接種に移行しており、こどもの体調や保護者の予定に合わせた日程調整やこどもの体調をよく知る、かかりつけ医での接種なども可能で接種機会の拡大が期待される。さらなる接種率向上の取り組みは、対象者に接種時期に合わせて郵送や手渡しによる個別通知、未実施の保護者には再通知による接種勧奨を行い、赤ちゃん訪問や乳

児健診等で、予防接種の必要性や接種方法などを説明し、接種勧奨に努める。高齢者については、インフルエンザと高齢者肺炎球菌ワクチンの接種を実施し、今後も予防接種率向上に努める。



## 景観条例制定への取り組み

**町長** 平成28年度より南伊豆景観形成ガイドプランを策定。空地、空き家対策も該当プランの主要施策に取り入れていきたい。

**質問** 7月2日から景観行政団体として、当面の計画でいくのか、町の景観計画をつくっていくのか。

**地域整備課長** 南伊豆町独自の景観条例等を今後策定していきたい。最終的に31年度末に条例ができれば。

**質問** 景観条例の策定で、自然エネルギーの考え方は。

**町長** 太陽光発電施設等の設置及び管理に関して必要な事項を条例で定めたい。

**質問** 風力発電で高さ制限はどう考えているのか。

**副町長** 太陽光発電施設等の設置及び管理ですので、当然風力も入っている。

**質問** 5月30日、南伊豆町が景観行政団体になったと報道があった。どのように景観条例を制定するのか。

# 未来を担う子ども達

## 台湾訪日教育旅行の生徒を迎えて

本年も4月18～20日に高級中等学校生36名が来町されました。2日目は町からのホームステイの依頼により、ホストファミリーとして3名の女子生徒を預かりました。会話に不安のある私たちは身振りや手振りで対応し、その後交流のあった地元の高校生や町職員の方々が応援に駆け付けて下さり、お互いホッと安心、夕食時には12名の大家族となり、楽しい団らんのひと時を過ごされました。

食後は近くの満満亭にて茶道の体験を行い、とても感動され、良き思い出になった事でしょう。

翌朝には早々に起床され、帰路となる慌ただしい1日で、慣れたころの別れはつらく涙を誘われ、素晴らしい思い出の1ページとなりました。

5月29～30日にもホームステイの依頼が有り2名の女子生徒をお預かりいたしました。

これからも、台湾からの教育旅行が計画されています。ふれあいの場が多くの町民に浸透されます様願う次第です。



## 「議会だより」音声版ボランティア募集

町議会議長 齋藤 要

町議会は、平成18年3月定例会「議会だより」No.25号から、ボランティアの協力を得て、音声版議会だよりを発行してまいりました。

当初からご協力くださいました、野村莞子様には厚く感謝申し上げます。

このたび、新たにボランティアを募集することになりました。視覚障害者・視力が弱くなられたみな様への、議会だより音声版発行へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

(音声版議会だよりは、議会事務局にお問い合わせください。)

## 議会一ロメモ

### 議決の意義とその効果

議決権は、議会のもつ権限の中で、最も本質的、基本的なものであり、議会の存在目的からも第一にあげられる権限である。

議会は町村長等の執行機関に対して、その町村の議事機関、意思決定機関として存在している。そして、現行地方自治法の建前では、条例、予算は議会が決定し、重要な行政執行についても、あらかじめ議会の議決を経ることを前提としているので、町村長が提案した案件

に対して可否を表明する事が議会の最も重要な使命であり、職責であると言える。このような議会の意思決定が、議決であり、議会の権限の中でも最も本質的、基本的なものと言われる訳である。議決は問題に対する議員個々の賛成・反対の意思表明、すなわち表決の集約である。

議決とは反対の意見を表明した議員があつたとしても、その議会の構成員である以上、議決の宣告があつたときから、成立した議決に従わなければならない。「議員必携より抜粋」

比野下



某大学のアメリカンフットボール部の、いわゆる「悪質タックル」問題の収束に多くの時間を費やすことになった理由は、反則タックルの行為自体の域を超えて、その組織内に存在するヒエラルキー（ピラミッド型の階層）のような身分の差に問題点が隠されていたことだと感じる。

組織を運営する上では、ある程度の拘束力が必要になることも否定できないが、誤っている点を指摘したり、それを是正できないほどの拘束力は、組織を歪める原因になってしまうのだろう。議会と当局の関係も、常に風通しの良い関係でいたものである。

勇往邁進（加）

